

事務事業名		農業振興対策協議会運営事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間		予算科目				
	施策名	20 産地化をめざした農林業の振興					会計	款	項	目	事業
	基本事業名	01 農業経営の安定化			☐ 単年度のみ		01	06	01	02	01
所 属	根拠法令	大船渡市農業振興対策協議会設置条例			☒ 単年度繰返 (開始 昭和48 年度～)						
	部課名	農林水産部 農林課			☐ 期間限定複数年度 [計画期間] 年度～ 年度						
	係 名	農政係	電話 内線	27-3111 343	※全体計画欄の総投入量を記入						
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)											
・大船渡市長が委嘱した委員で構成される大船渡市農業振興対策協議会を開催し、市長が諮問した大船渡市の農業振興にかかわる事項について協議してもらう。 ・委員の構成は、農業委員会の委員、農業団体の役職員、知識経験者、農業者による20名で、任期は2年。 ・業務内容は、①諮問事項の設定、②開催日の調整、③開催通知、④会議資料の作成、⑤協議会の運営、⑥報酬等の支払である。 ・出席者には報酬と費用弁償を支払う。											
全体計画 (※期間限定複数年度のみ)							総 投 入 量 (千 円)	事 業 費 内 訳	国庫支出金		
									都道府県支出金		
									地方債		
									その他		
									一般財源		
									事業費計 (A)		0
							人 件 費	正規職員従事人数			
								延べ業務時間			
								人件費計 (B)		0	
								トータルコスト(A)+(B)		0	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標											
① 手段 (主な活動)					⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)						
前年度実績 (前年度に行った主な活動)					名称					単位	
平成22年度においては、諮問事項がなく開催していない。					ア					協議会開催回数	回
今年度計画 (今年度に計画している主な活動)					イ						
1回開催予定。					ウ						
② 対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等					⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)						
市の農業振興に係わって諮問した議案					名称					単位	
					カ					諮問した議案の数	件
					キ						
③ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)					ク						
諮問した議案を承認してもらう。					⑦ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)						
					名称					単位	
④ 結果 (基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)					サ					承認された議案の数	件
農産物が安定して高く売れる					シ						
					ス						
(2) 総事業費・指標等の推移											
		単位	年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)		
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千 円								
		都道府県支出金	千 円								
		地方債	千 円								
		その他	千 円								
		一般財源	千 円	200	120	120	0	0	0		
		事業費計 (A)	千 円	200	120	120	0	0	0		
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1		
		延べ業務時間	時 間	120	60	60	0	0	0		
		人件費計 (B)	千 円	480	240	240	0	0	0		
		トータルコスト(A)+(B)		千 円	680	360	360	0	0	0	
⑤活動指標		ア	回	2	1	1	0	0	0		
	イ										
	ウ										
⑥対象指標	カ	件	1	1	1	0	0	0			
	キ										
	ク										
⑦成果指標	サ	件	1	1	1	0	0	0			
	シ										
	ス										

事務事業ID	0488	事務事業名	農業振興対策協議会運営事業
--------	------	-------	---------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

大船渡市の農業を、農業関係者・団体が話し合って振興するために、昭和39年に大船渡市農業基本対策協議会が設置され、昭和48年に大船渡市農業振興対策協議会へと改変された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

高度経済成長期において他産業への労働力の流出によって、農業従事者の減少と高齢化が進んでいる。
米を始めとする国による生産調整対策が行われている。
農畜産物の輸入自由化により、低価格の農畜産物が輸入され市場競争に勝ち残ることが困難になってきている。
これらを通じて農業に対する意欲が減退し、耕作放棄地の増加が著しく進んでいる。(2005農林業センサスでは、50%以上の耕作放棄率)

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

協議会委員からは、諮問事項がなくても最低年1回は開催するよう要望されている。
農業者からは、大船渡市において農業経営を維持・継続できる政策を考えてほしいと意見が出されている。

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 協議会委員は農業関係団体・機関の代表で構成されており、市農業の振興に関する事項の意思統一が図られる。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 大船渡市農業の振興を、行政機関だけで方向付けるのではなく、関係機関・団体・生産者を交えて協議してもらうために出席した協議会委員に報酬を払うのは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 大船渡市農業振興対策協議会の設置目的が、市の農業振興に必要な事項を審議することであり適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 引き続き事業を行うことにより、市の農業振興に係る方向性がその都度明確化されることから、今後とも継続し、成果の維持を図る必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒ [その内容] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 市の農業振興に関する計画を関係機関・団体・生産者で議論する場が失われる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 現在、市の農業振興に関して協議する組織は、本協議会だけである。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 報酬および費用弁償は市の規定に基づいて支出している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 業務が、開催日の調整・通知、資料の作成、協議会の開催などであり、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒ [理由] → 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 受益者負担が伴わない事業である。

事務事業ID	0488	事務事業名	農業振興対策協議会運営事業
--------	------	-------	---------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 当初は2回開催する予定であったが、開催できなかった。																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 関係機関・団体・生産者を交えて協議することでより実効性の高い計画策定が可能となることから、今後も現状を維持していく必要がある。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							

(職 名) ※原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	農林課長
-------	------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 第五次大船渡市農業振興基本計画策定に係って協議会を開催する予定であったが、諸事情により開催できなかった。																				
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) ・第五次大船渡市農業振興基本計画案を作成した段階で協議会を開催する。 ・諮問事項がなくても、農業振興を図るための主要事業を説明するために、年に1回は協議会を開催する。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
